

タイトル：2020年度 教育セミナー（第16回）

日時：2020年9月17日（木）～20日（日）

オンライン

中西 萌（京都大学大学院1年）

この度、中東☆イスラーム教育セミナーに参加させて下さりありがとうございました。

同セミナーを通して、他大学でどのような中東、イスラーム研究が行われているのかを知る貴重な経験となりました。私が所属する大学院や、関西圏とは違った世界観の研究と出会うことができ、中東、イスラーム研究の広さに気づかされました。また、私自身もポスター発表を行う機会を頂きました。充実した4日間の中で、非常に貴重な学びを得ることができたと感じております。

経済学、歴史学、人類学などの様々なディシプリンの先生方の講義を受け、これらは今後の研究においてとても参考になりました。研究の進め方、質問の取り方などの方法論や、大学院で普段なかなか伺うことができない中国、コーカサス地域でのイスラームに関する多面的な研究を知ることができました。質疑応答の時間を設けて下さったので、各専門分野における著名な先生方に気兼ねなく質問をすることができました。その上、参加者の大学院生による発表は、新たな視点を得ることができ、大変刺激的でした。

ポスター発表では、シリア周辺国における難民の起業家たちに焦点を当てた内容を発表させて頂きました。私は、シリア難民の生計について、レバノンを事例に研究を進めておりましたが、今年8月初旬に起こったベイルート爆発事故より研究テーマを修正することとなりました。よって、同セミナーは、修正中である研究テーマを発表する機会となりました。発表当日は、多くの方から温かいご意見、ご質問を頂きました。これらは、私自身がこの方向で研究テーマを定めていく上で確信が持てるようになる良いきっかけとなりました。ありがとうございました。

また、オンラインでのポスター発表はパソコン上の画面表示で行われるため、いかに限られた文字数でわかりやすく伝えるか、試行錯誤しました。事前にサポートとしてAA研の熊倉先生が見てくださったおかげで、ポスター作成術を学ぶことができました。ポスター発表で頂いたコメントをもとに、更に深い研究へと発展できるよう尽力いたします。

今年度は、コロナ禍のため全日程オンライン開催でした。この前例のない中で、準備、講義をしてくださった先生方、セミナーを支えてくださった事務局の千葉様、運営に携わってくださった方々におかれましては、大変なご苦勞をされたことと拝察します。それでも、コロナ禍に見舞われた私たち院生に対し、対面で出来なくてもオンラインで学ぶ機会を提供して下さり、深く感謝を申し上げます。